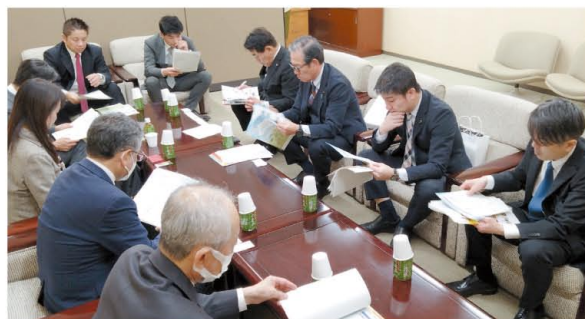


## 12月・3月 埼玉県議会各会派と懇談しました



無所属県民会議との懇談



埼玉県議会自由民主党議員団との懇談

生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会5会派との懇談を実施し、24人の県議会議員と埼玉県生協連会長理事および役員が出席しました。会員生協の活動状況についての報告、県内生協グループの介護福祉事業の現状報告と介護保険制度についての意見交換などを中心に懇談を行いました。

——懇談した会派と日時および出席者——

2023年12月5日（火）無所属改革の会との懇談 出席者：中川浩県議

12月20日（水）無所属県民会議との懇談  
出席者：金野桃子県議、岡村ゆり子県議、平松大佑県議、八子朋弘県議、松坂喜浩県議、石川忠義県議、井上航県議

12月20日（水）日本共産党埼玉県議員団との懇談  
出席者：山崎すなお県議、伊藤はつみ県議、城下のり子県議

2024年1月15日（月）埼玉県議会自由民主党議員団との懇談  
出席者：田村琢実県議、齊藤邦明県議、松澤正県議、中屋敷慎一県議、荒木裕介県議、宇田川幸夫県議

3月18日（月）埼玉県議会公明党議員団との懇談  
出席者：蒲生徳明県議、塩野正行県議、萩原一寿県議、安藤友貴県議、深谷顕史県議、戸野部直乃県議、小早川一博県議

## 3/12 関東農政局と消費者団体との意見交換会 「食料・農業・農村基本法改正」をテーマに 意見交換しました



さいたま新都心合同庁舎2号館関東農政局にて開催され、関東農政局から5人、8消費者団体10人が出席しました。「食料・農業・農村基本法改正に向けて」の説明ののち、質疑応答がされました。食料システムについてのコミュニケーションの計画などについても、活発に意見や質問がされました。

## 1/30 NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 信販会社ライフティ株式会社に対して、 集団的被害回復訴訟を提起しました



埼玉消費者被害をなくす会（以下、なくす会）は、「ライフティ株式会社」（本社：東京都新宿区）に対する集団的被害回復制度の共通義務確認訴訟をさいたま地方裁判所民事部に提起しました。なくす会は、多数の消費者に生じた財産的被害の集団的な被害の回復を求めることができる消費者団体訴訟制度の行使が可能な特定適格消費者団体であり、本訴訟は消費者が脱毛エステ業者株式会社ビューティースリーの「全身脱毛無制限コース」を契約し、ライフティに分割払いクレジットを利用して支払った代金を、ライフティから消費者に返金することを求めています。

SAITAMA  
2024 夏号

No.90  
(2024年7月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

# 写真ニュース



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっち」

### Top News

## 6/20 埼玉県生協連第53回通常総会 2024年度事業計画など すべての議案が承認可決されました

### 第53回 通常総会



吉川会長理事あいさつ



埼玉県県民生活部消費生活課  
田中康博様



埼玉県農業協同組合中央会  
小池和明様



埼玉県地域婦人会連合会  
柿沼トミ子様



採決

埼玉会館にて、代議員定数37人中36人（実出席31、書面出席5）が出席、オブザーバー4人が参加し、開催しました。吉川尚彦会長理事のあいさつに続き、ご来賓としてお越しいただいた、埼玉県県民生活部消費生活課課長田中康博様、埼玉県農業協同組合中央会専務理事小池和明様、埼玉県地域婦人会連合会会長柿沼トミ子様よりごあいさついただきました。次に、吉川会長理事が第1号議案から第4号議案まで一括提案し、5人の代議員からの発言、議案討議のまとめを経て、採決を行い、全ての議案が承認されました。

## 6/18 NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 第21回通常総会および設立20周年記念講演を行いました



第21回通常総会



設立20周年記念講演

総会終了後には、設立20周年記念講演として「消費者団体訴訟制度の歴史をふりかえって～適格消費者団体の役割と地方消費者行政との連携への期待～」と題して、内閣官房内閣審議官の黒木理恵さんを講師に記念講演を行い、オンラインを含め76人が参加しました。

埼玉会館にて、第21回通常総会を開催し、表決権総数119個中、104個（実出席22個、書面73個、委任9個）が出席しました。池本誠司理事長によるあいさつ、吉川尚彦専務理事からの議案提案ののち、採決を行い、2つの議案が承認されました。







# 会員生協の取り組み 広がる 県内生協の多彩な活動



## 生活クラブ生活協同組合



### 生活クラブ埼玉50周年記念企画スタート



久しぶりに  
おぜいの生産者と  
大いに盛り上がりました

今年、生活クラブ埼玉は50周年を迎えます。記念企画として、4月には「プレ生産者交流会」と題し、10生産者と組合員116名が集まり、大規模な交流会を行いました。久しぶりに試食を伴う交流会で、消費材を通して、食料自給率の向上、遺伝子組み換え作物への反対などに参加していることを学び、楽しく有意義な時間となりました。

11月9日(土)、所沢航空記念公園にて、生活クラブ埼玉50周年記念「つながる生ききまつり」を開催します。組合員が生産者と共に、消費材のアピールや試食を行い、地域の皆さんとも一緒に楽しめる企画を検討しています。みなさん、ぜひご参加ください。

## 生活協同組合コープみらい



### 「新緑の見沼田んぼクリーンウォーク」を開催



新緑の芽吹く  
コースの様子

集合写真

5月11日、「新緑の見沼田んぼクリーンウォーク」を開催しました。2回目となる今年は、株式会社埼玉りそな銀行・浦和レッドダイヤモンズ株式会社・日本赤十字社 埼玉県支部との4団体で開催しました(後援:埼玉県ユニセフ協会・さいたま市、協力:SAITAMAリバーサポーターズ)。82人が参加し、見沼通船堀公園の周辺約3kmをごみ拾いをしながら巡りました。

## 医療生協さいたま生活協同組合



### 防災学習と土手ウォーキング



南部地区Dブロック(川口市)では、なかまち支部・西川口第3支部の共催で昨年10月に防災対策の学習会、11月に「防災を考えながら土手を歩こう」ウォークの連続企画を行いました。学習会には町会役員も参加し、26名が防災士の話を聞きました。荒川と芝川に囲まれた川口市は水害の危険度が高いこと、垂直避難の方法、水害時のサバイバル術など、知識を深めることができました。翌月は、WFP食料支援も兼ねて荒川の土手沿いを歩きながら数年前の台風の体験を交流し、おしゃべりも楽しみました。

## 生活協同組合パルシステム埼玉



### お米のこと、もっと知ってみよう! 産地とつながり米作り体験



「田植えの大変さ、大事さ、  
楽しさがわかりました」  
「土や水などの自然に触れられて  
気持ちよかったです」

産直産地『南埼玉産直ネットワーク』との交流を開始して19年目、今年も「岩槻田んぼ交流」を開催します。田植え、雑草取り、生きものの観察や案山子づくり、稲刈りと、お米作りを通して農作物を育てる苦労や環境保全型農業を学びます。自宅での稲の成長を観察できる「バケツ稲」にもチャレンジします!今年は28組99名と、昨年以上の参加者となり、6月1日の田植えからスタートしました。

## さいたま住宅生活協同組合

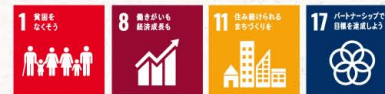


### 耐震診断・耐震改修の相談が増加



今年元日に発生した能登半島地震では、日本で「いつ」「どこで」大規模な地震が起きてもおかしくないということを思い知らされました。今年は例年になく組合員さんのご自宅の耐震性に関する相談が多数寄せられています。2000年(平成12)年以前は建築基準法の耐震基準が現在よりも緩く設定されており、あらためて耐震診断をお勧めし、必要に応じた耐震改修のご提案をしています。

## こくみん共済 coop <全労済>



### 14地区において春季組合員討議を開催しました



組合員討議集会のようす

7月30日に開催する第7回組合員代表者会議に向けて、5月15日から29日まで、県内14地区において春季組合員討議を開催し、職域と地域の組合員255人が参加しました。2023年度推進活動計画進捗報告、2024年度推進活動計画(案)、各地区推進活動計画等について協議しました。参加組合員からいただいたご意見等は組合員代表者会議に反映させ、さらなる運動と事業の発展につなげてまいります。

## 埼玉大学生生活協同組合



### 総代会へ向けて 「総代学習会」を開催しました



埼玉大学生協では5月24日の総代会に向けた事前説明・学習の場として「総代学習会」を開催しました。組合員の多くが学生である埼玉大学生協では学生にも理解しやすいように、学生委員会主催で開催しています。学生委員会の目線で説明し、クイズなども交えて生協・総代議案への理解を深めました。また、生協への意見・要望や「こうしたら生協がもっとよくなる」というテーマでグループで話し合ってもらい、生協の運営に活かしています。